

第10回受賞 令和2年(2020年)

受賞テーマ

「FLT3変異の発見と標的治療薬の研究」

<所属・職位は受賞当時>

- <代表者> 直江 知樹 (国立病院機構名古屋医療センター 名誉院長)
横田 昇平 (藤谷医院 院長、京都府立医科大学血液内科 客員講師)
清井 仁 (名古屋大学大学院医学系研究科血液・腫瘍内科学 教授)



第10回受賞研究テーマ『FLT3変異の発見と標的治療薬の研究』に関する研究成果は、急性骨髄性白血病(AML)における受容体型チロシンキナーゼFLT3に存在する遺伝子変異を複数発見し、それらの臨床的意義ならびに生物学的意義について解明した画期的なものであります。

さらに、変異FLT3に対する阻害剤スクリーニング系を確立し、国内製薬メーカーと共同で有効な阻害剤開発に取り組みられました。現在、富士フィルム社と共同で有効性かつ特異性の高い阻害剤を探索し、臨床フェーズに進んでいます。

また、アステラス製薬が開発したギルテリチニブの臨床治験推進にも取り組みられ、2018年日米欧3極で化学療法併用によるFLT3変異陽性AMLに対して承認が得られ、難治性の急性骨髄性白血病の患者さんの福音となっております。